

授業科目等の概要

(工業専門課程自動車整備・カスタマイズ科)令和6年度																	
分類	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択	授業科目名	授業科目概要	配 当 年 次 ・ 学 期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携	
									講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任		
	○			自動車工学基礎	1. 自動車の基本的な構造、構成部品を理解する。 2. 自動車に係る基本的な原理、原則を理解する。 3. 国家2級試験 工学分野の計算問題を理解する。	1通	64		○			○				○	
	○			エンジン構造基礎	1. ガソリン・エンジンの構造、作動を理解する。 2. 電子制御装置の構造、作動を理解する。 3. ジーゼル・エンジンの構造、作動を理解する。	1通	86		○			○				○	
	○			シャーン構造基礎	1. 動力伝達装置の構成する各機構の構造、作動を理解する。 2. アクスル及びサスペンションの構造、作動を理解する。 3. ステアリング装置の構造、作動を理解する。 4. ホイールアライメントの要素や役割を理解する。 5. ブレーキ装置を構成する各機構の構造、作動を理解する。 6. フレーム及びボデーの構造、作動を理解する。 7. タイヤ、ホイールの構造、作動を理解する。	1通	84		○			○				○	
	○			電装品構造基礎	1. 自動車に使用されている電装品を理解するために、電気の基本を理解する。 2. バッテリーの構造、機能、整備を理解する。 3. 始動装置の構造、作動を理解する。 4. 暖冷房装置の構造、作動を理解する。 5. 灯火装置の構造、作動を理解する。 6. 計器装置の構造、作動を理解する。 7. 自動車に使用されている半導体の役割、作動を説明できる。 8. 充電装置の構造、作動を理解する。 9. 点火装置の構造、作動を理解する。 10. 予熱装置の構造、作動を理解する。 11. 多重通信の概要を理解する。	1通	71		○			○				○	
	○			整備機器取扱	1. 自動車を整備する上での工具、測定具の構造、取り扱い、保守等を理解する。	1前	25		○			○				○	
	○			TS育成	1. お客様対応の基本を学ぶ	1後	6		○								
	○			エンジン分解組立	1. ガソリンエンジンの構造、エンジン主要部品の名称・役割がわかる 2. エンジンオイル・オイルフィルタの交換ができる 3. 工具・装置の正しい使用法と安全配慮ができる 4. ファンベルトの脱着ができる 5. 計測機器の正しい使用と正確な測定が出来る。 6. タイヤ脱着の基本手順を学び、作業姿勢、工具選択の重要性を理解させる。	1前	52					○	○			○	○
	○			基本電装	1. オームの法則を使い、回路の計算ができる 2. オームの法則を使い、抵抗値、電流値、電圧値を推理でき、サーキット・テスタの使用し、回路の測定が出来る。 3. 灯火装置の、バルブの脱着ができる。 4. 半導体の特徴を実験や測定することで理解を深める。 5. オンロスコープの取り扱い、注意点を学び、直流と交流の違いを理解できる。	1前	52					○	○			○	○

30	○		電装品整備	1. TS3級の技術能力要件の電圧点検、エアコン関係の作業ができる。 2. 電動格納ミラーの電圧点検が行う事ができる。 3. エアコンについては、整備要領書にしたがって性能点検ができる。	2前	52					○	○					○	○		
31	○		大型車整備2	1. マニュアルトランスミッションの脱着を通じて、安全かつ正しい作業を行う。 2. インタ・アクスル・ディファレンシャル、エキゾーストブレーキについて理解する。 3. 貨物車を正しい手順で分解、組立、故障探究ができる。 4. 大型車の動力伝達装置に使用されている各機構を理解できる。	2後	52					○	○						○	○	
32	○		エンジン電子制御2	1. 各種センサーの電源、信号電圧測定、点検部位に対し、配線図から必要な回路を抜き出して点検箇所にテスタが当てられる。 2. コンサルトの接続、立ち上げ、自己診断、データモニタ表示を行なう。 4. 実際に一般道を走行している車両の整備全般ならびに法定点検を実施できる。	2後	52					○	○						○	○	
33	○		エンジン脱着	1. 車両からパワートレインASSY脱着～エンジン始動させる。	2後	52					○	○						○	○	
34	○		車検	1. 2年点検を実施できる 2. 保安基準について理解する 3. 指定整備記録簿を記入することができる 4. お客様に整備結果説明ができる	2後	52					○	○							○	○
35	○		総合整備	1. 日産3級技能要件の確認 2. コンサルトⅢの取扱いが出来る。 3. 各種点検(新1、新6、安心6か月)が出来る。 4. 各種作業(ブレーキ、エンジン周り、パンク修理等)が出来る。 5. 車両取扱い時の注意事項を熟知している。 6. 就職後の車両取り扱い・作業全般を身に付ける	2後	52					○	○							○	○
36	○		EV	1. EV基礎教育(低圧電気取扱い者講習を含む)を修了する 2. 先進安全装備のキャリブレーションの知識が習得できる	2後	52					○	○							○	○
37	○		車体整備概論	1. 自動車の車体材料を理解する 2. 乗用車の構造・機能を理解する 3. トラックの構造・機能を理解する 4. はりの種類、荷重分布の計算方法を理解する	3前	48			○				○							○
38	○		車体塗装理論	1. 塗装の目的や塗装方法を理解する。 2. 塗料の成分を理解する。 3. 塗装の設備や工具の取り扱いを理解する。 4. 塗装作業での安全や衛生について理解する。	3前	24			○					○						○
39	○		車体整備理論	1. 各種板金作業を理解する 2. 各種フレーム修正機について理解する 3. 乗用車、トラックの整備について理解する 4. 損傷診断について理解する	3前	44			○					○						○
40	○		車体溶接理論	・各種溶接作業を理解する	3前	24			○					○						○
41	○		事故見積り	1. 教科書により事故見積りの必要性を理解する。 2. 教科書により見積書の重要性を理解する。 3. 教科書、参考資料により指数を理解する。 4. 教科書によりレバレートを理解する。 5. 写真見積りを練習することにより見積りを出来るようにする。	3後	40			○						○					○
42	○		車体工学演習	1. 国家車体整備士学科試験合格のための基礎学力の向上を図る。	3後	84			○						○					○

43	○		板金初級	1. 車体整備(板金)に関する基礎知識、基礎作業について理解する 2. 絞り修正作業(電気絞り)を理解する 3. ガス溶接に関する基礎知識、基礎作業について理解する	3前	81				○	○			○	○
44	○		塗装初級	1. パテの種類を理解する 2. フェザーエッジ出しを習熟する 3. 面出しを習熟する 4. 自動車塗装に関する塗装基礎、作業工程について理解する。	3前	81				○	○			○	○
45	○		板金中級	1. 粗出し作業を習得する 2. 絞り作業を習得する 3. 整形作業を習熟する 4. 仕上げ作業を習熟する 5. MIG溶接作業を習得する	3前	118				○	○			○	○
46	○		塗装中級	1. 新品パネルの下地処理を学ぶ。 2. メタリック塗装の手順、基礎を学ぶ。 3. 調色の手順、基礎を学ぶ。 4. マスキングの手順、基礎を学ぶ。	3前	118				○	○			○	○
47	○		板金上級	1. 基礎的なフレーム修正作業を習得する 2. 計測作業を習得する 3. 溶接パネルの交換作業を習得する 4. 溶接の応用作業を習得する	3後	136				○	○			○	○
48	○		塗装上級	1. 全塗装を体験する 2. 側面塗装を体験する 3. 実作業工程のノウハウを体験する 4. パネル塗装を体験する 5. クイック補修に関する技術・知識を習得する。	3後	136				○	○			○	○
49	○		総合実習	1. 日産の車体整備士として求められる技能レベルに到達する。 2. 各個人の車両を使って技能レベル向上と、車両の取り扱いを習熟する。	3後	43				○	○			○	○
50	○		一般教養	1. メールのマナーを学ぶ to/cc/bccの使い方	4前	3				○				○	
51	○		法令	1. .1. 2. 3年次の法令を復習する 2. 改造するに当たり法令を理解し作業を円滑に行うよう努力する 3. 車両を作るに当たり車両製作車の車検を取る事を目的とする 4. 車両の法規を理解し、車両造りが出来る	4前	6				○				○	
52	○		金属塗装学科	1. 過去問題を習熟する(過去問最低3週) 2. 95点以上を目指し問題をやり込む	4前	19				○				○	
53	○		カスタム学科	1. カスタム車両を考える 2. 改造するに当たり出来ること・出来ないことを見極める 3. 考えを形に変える 4. 世に認められるカスタム車両を考える。	4前	23				○	△			○	
54	○		エアブラシ	1. エアブラシを理解する 2. エアブラシを使い絵を制作できる。	4前	88				△				○	○
55	○		各種塗装	1. カスタマイズに関する塗料を理解する 2. カスタマイズに関する塗装作業が出来る	4前	32				△				○	

56	○		FRP/金属加工	1. 発砲ウレタンの特徴を理解する 2. FRP加工の危険性・造形・特徴を理解する。 3. FRP作業繰り返し動画で確認することにより理解を深める(ICT授業) 4. 金属の特徴を理解する	4前	48		△		○	○	○				
57	○		イラスト研修	1. 車両製作イラストを考える 2. コンセプト車両が上位入賞する為の討議 3. 仮説を立て見るお客さまの潜在ニーズを考える 4. 6月中旬コンセプト発表を円滑に進める 5. 車両コンセプトを発表する(6月中旬)	4前	48		△		○	○	○				○
58	○		金属塗装実技	1. 金属塗装実技試験内容を理解する。 2. 金属塗装に関する実技内容を理解・作業できる。	4前	32		△		○	○	○				
59	○		カスタム実習1	1. 車両製作イラストをベースにクレーモデルを製作 2. あらゆる技術を駆使し作業を工夫する 3. オートメッセ・オートサロン出展車両を製作 4. 製作過程の動画、情報を配信する	4前	156				○	○	○				
60	○		カスタム実習2	1. イラスト、クレーモデルをベースに車両制作 2. オートメッセ・オートサロン出展車両を製作 3. チーム力を鍛えチームとして作業を進行していき車両の完成を目指す 4. 製作過程の動画、情報を配信する	4後	355				○	○	○				
61	○		カスタム実習3	1. 車両登録準備(各種書類) 2. オートメッセ出展ブースの設営 3. 車両のナンバー登録 4. 製作過程の動画、情報を配信する	4後	164				○	○	○				
62	○		卒業実習	1. オートメッセ出展車両の登録 2. マイカー整備・塗装・板金	4後	74				○	○	○				
合計				62 科目	3962単位時間(単位)											

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
	学科、実習ともにテーマ終了後に試験し、60点以上で履修とする。 必修、自由選択にかかわらずすべての教科において未履修がなければ卒業を認める。	1学年の学期区分
	1学期の授業期間	25週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。